

「川の通信簿」実施について

～ 阿武隈川下流・名取川 ～

仙台河川国道事務所では、阿武隈川下流・名取川において2箇所の河川公園等を選定し、川の利用のしやすさや親しみやすさ等について、市民の目による点検「川の通信簿」を実施します。

「川の通信簿」は河川空間の利用のしやすさ、親しみやすさ等について点検を行い、評価をすることで、その結果から良い点・悪い点を把握し、河川整備や日常の維持管理等に反映し、良好な河川空間の保全、整備を図っていくことを目的に全国の直轄河川で実施するものです。

参加者は点検箇所を歩いて回りながら、点検シートに評価を記入して、星の数により5段階で総合評価を行います。

実施要領

■点検箇所・実施日時

| 水系名 | 河川名 | 点検箇所 | 点検日時 |
|--------|------|-------------------|----------------------------|
| 阿武隈川水系 | 阿武隈川 | 角田市阿武隈緑地 (角田市) | 令和元年9月9日(月) 13:00～15:00 |

| 水系名 | 河川名 | 点検箇所 | 点検日時 |
|-------|-----|-----------------------|-----------------------------|
| 名取川水系 | 名取川 | 閑上地区 かわまちづくり (名取市) | 令和元年9月10日(火) 13:00～15:00 |

■参加者

上記の時間内であればどなたでもご参加頂けます。参加希望の方は、上記の点検時間内に別添の集合場所までお越し下さい。

■実施概要

点検箇所の点検日時・集合場所(別紙参照)にて点検シートをお配りします。点検シートには施設の使いやすさなど15項目に評価を記入して頂きます。

施設周辺を見て頂き、点検シートに記入をして頂きましたら、集合場所の係の者に記入した点検シートをお渡し下さい。以上で点検は終了になります。

【前回の点検状況】



【問い合わせ先】

国土交通省 仙台河川国道事務所 調査第一課 「川の通信簿係」まで
電話:022-304-1827 FAX:022-304-1904

「川の通信簿」 実施箇所・集合場所

阿武隈川（角田市） 角田市阿武隈緑地



名取川（名取市） 閑上地区かわまちづくり



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号 平30東複、第23号】

「川の通信簿」について

目的

◆ 全国の河川空間の親しみやすさや快適性について、現地において地域住民と共同で調査を行うことにより、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映し、良好な河川空間の保全・整備・管理を図るものです。

点検内容

◆ 15の点検項目があり、箇所毎にそれらの重要度・良い悪いなどの状態・整備の必要性を点検し、最後に5段階評価を行います。

| 点検項目 | 点検内容 | | | |
|----------------------|--------------|-----------|----------|-----------|
| 1. 豊かな自然を感じますか | 【現在の状況】 | | | |
| 2. 水はきれいですか | 良い | 普通 | 悪い | |
| 3. 流れている水の量は十分ですか | 【整備の必要性】 | | | |
| 4. ゴミがなくきれいですか | 必要 | | 不要 | |
| 5. 危険な場所がなく安全ですか | 【整備時期】 | | | |
| 6. 景色はいいですか | すぐ | 2~3年 | 5年 | それ以上 |
| 7. 歴史・文化を感じますか | 【重要性】 | | | |
| 8. 堤防や河川敷には近づきやすいですか | 非常に重要 | 重要 | 普通 | 不要 |
| 9. 水辺へ入りやすいですか | | | | |
| 10. 広場は利用しやすいですか | | | | |
| 11. 休憩施設や木陰は十分ですか | | | | |
| 12. 散歩はしやすいですか | | | | |
| 13. トイレは使いやすいですか | | | | |
| 14. 案内看板はわかりやすいですか | | | | |
| 15. 駐車場は使いやすいですか | | | | |
| 総合評価 | | | | |
| ★★★★★ すばらしい | ★★★★ 相当良い | ★★★ 普通 | ★★ 悪い | ★ 相当悪い |

※この通信簿は、点検者が主観的に評価するものであり、川の優劣を付けるものではありません。

成果の活かし方

- ❖ 市民と行政が良い点・悪い点の情報を共有し、より良い川づくりに役立てます。
 - 今後の河川整備メニューの抽出など
- ❖ 川の魅力をPRし、河川愛護の普及や環境学習、観光振興等に活かします。
 - 魅力ある河川空間マップの作成など